

パソコンは断然Mac派

アップル社のパソコンとの出会いは、国際深海掘削計画でインド洋を航海中に船上で。「きれいに絵が描けるので、これや!と思いましたね」。初代は兵教大に就職した年に冬のボーナスをはたいて購入したMacintosh Plusで、現在は小和田善之教授の部屋に鎮座しているとか。もちろん、今もパソコンやスマートフォンはアップル社製で統一し、常に持ち歩いているMacBook Airは講義でも活用している。



マグカップにもアップル

毎日、研究室でのティータイムに愛用しているマグカップは、20年ほど前に学生からプレゼントされたもの。「アップル社のロゴが今と違って虹色ですからね。貴重でしょう」



フィールドワークのお供

地層の方向や傾斜を測るクリノメーターと3代目となるハンマーは、放散虫が集積してできたチャートなどを採取する際のマストアイテム。ゼミ生らを引率する時は加西市や多可町など北播磨地域が中心で、場所が分かれば1日で終わるといふ。



先生に質問!



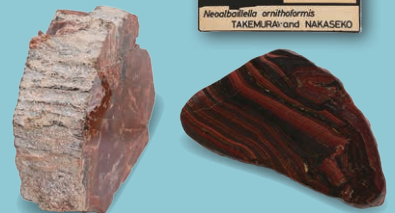
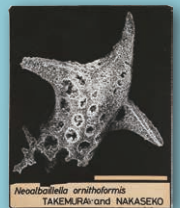
癒やしの音楽

iPhoneに好きな曲を入れ、片道1時間の通勤時に車中で流しているという。ジャンルはクラシック、演歌のどちらか。「眠くなったときは村田英雄。窓を閉めて、一緒に歌っています」



化石コレクション

オーストラリアで購入した20億年ほど前の綿状鉄鉱床や、米国で入手した2億年前の珪化木をはじめ、世界各国の多種多様な化石を数多く所有している。「小学校の授業などで披露すると、目を輝かせて喜んでくれるんですよ」。右は学生時代に初めて新発見し、論文に書いた思い出深い放散虫。古生代最後のものと判明したそう。



竹村厚司 教授

認識形成系教育コース
〔自然系教育分野(理科)〕

大阪府出身。昭和55(1980)年京都大学を卒業後、60年に同大学大学院理学研究科博士課程を修了。63年に兵教大の教育学部助手となり、助教授、准教授を経て平成22(2010)年から現職。研究分野は地質学と古生物学で、中でも日本とニュージーランドの放散虫化石が専門。授業は「生命と地球の科学」(学部)、「理科教科内容論Ⅶ」(修士課程)などを担当。

Q 先生が専門としている放散虫とは。

A 海のプランクトン的一种で、国内でよく見られる化石です。5億年前から地球上に存在し、大きさは0.1ミリのほど。日本は放散虫の研究が盛んで、世界の研究をリードしている面もあります。まだまだ研究する余地がたくさんある面白い分野で、新しいものが見つかったときは非常に楽しいですね。半年前にも中国地方で一番古い化石を発見して学生が卒業論文で書きました。

Q 化石の研究で分かることは。

A まず、地層の年代が決まります。それによって昔の生物がどういう生活をしてどのように進化してきたか、さらに当時の地球環境についても明らかにできます。他にも、石油などの資源探査や、建物を建設する前に行う地質調査にも役立てられています。

Q 指導で心掛けていることは。

A 学生たちは教員を目指しているのですが、自分自身で考えられるように頭の訓練をすることです。そして、専門ではない人にもきちんと分かりやすく説明できるように指導しています。そのため、卒業論文を書いた後にしっかりとスライドを作ってプレゼンテーションしてもらいます。発表会には2~4年生や大学院生も参加するので学生にはかなりプレッシャーになるようですが、そこまでしなれば本当の意味での勉強になりませんから。